

1 基本事項

2 管理運営状況

○冬季・夏季とも利用客の増強のため、学校・サークル等の合宿や授業等の誘致に努めている。
○バイクやコンサートなどのイベントを実施し、若い年齢層を誘客するための事業にも取り組んでいる。
○スポーツショップと提携をし、新規利用誘客をするとともに情報の供有を図っている。

企画イベント

①浜汁祭り ②糸魚川ジオパークG S L大会 ③滑降大会 ④綱島モータース杯G S L大会
⑤スキー子供の日 ⑥塩の道コンサート ⑦新そば祭り ⑧パラグライダー教室
⑨J N C C (全日本オフロードクロスカントリー選手権) 年2回
⑩ドローンの販売、イベント 等

(单位:人)

「利用者サービス」における市の状況分析	・温泉利用者は減少傾向にあるものの、地元に根付いた利用となっており地域振興に貢献につながっている。 ・宿泊者数は合宿等の受入により増加傾向にある。 ・索道は、前年より伸びているが、天候の影響を受けやすく増減が激しい。
---------------------	--

(単位:千円)

支出	人件費	83,780	78,057	80,700	77,741	80,060	83,934	83,560
	光熱水費	23,030	23,975	25,400	22,091	22,450	21,291	22,520
	業務費・その他管理	89,520	90,219	108,960	86,332	87,880	95,685	95,160
	維持管理経費	45,970	45,697	37,940	37,786	38,610	42,251	38,960
	営業外費用	2,200	2,213	1,000	1,050	1,000	1,200	800

「収支状況」における市の状況分析	利用料金等の収入については、前年度から増加したものの、小雪の影響を受け計画額には達していない。 支出面については、通常の維持管理は自社対応等により経費削減に努めているものの、台風・大雨による災害対応で支出が嵩み、収支ではマイナスとなっている。（H27年度の収支がプラスになっているが、小雪のため、補正により指定管理料を増額した）
------------------	--

3 適正な管理運営の確保

目 標 管 理	評価指標	利用者の安全確保、適正な施設管理（索道）	
	目 標	①異常・不具合の早期発見、対応 ②無事故・無災害	
	実 績	索道事故なし。インシデントなし。保安監査においての改善処置指示 7 件（改善済み）	
資 料			

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	・シニアや障害者割引等を実施している。 ・家族向けにファミリーチケットの販売を実施している。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	・毎朝、営業前に設備の点検の施行。 ・チェックリストにて確認を行った。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	・有資格者を配置するとともに、適正な人員を配置した。
	・利用者が安全、安心して利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	・ケガ、事故発生時のマニュアル、連絡体制を全リフト及び宿泊、食堂等全施設に掲示し、指示を行った。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	・救急法研修会、索道技術研修会、雪上車講習会、索道救助訓練、公認パトロール研修会、安全運転管理者講習会等の講習会を受講。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	・安全対策等での苦情はない。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	B	A（A－）
	評価理由	・安全対策については、日常的かつ適切に実施した。 ・保安監査より改善指摘事項があった。 ・ゲレンデコースにおいて、コース改修整備を行っているため、苦情はない。	・緊急時対応のための組織図、連絡網が整備されており、安全対策について徹底されていることから、コースの維持管理が適正に行われている。 ・保安監査において改善事項が確認されたが、既に改善済みである。 ・コース造成拡幅など、未然に事故を防ぐ対策も行っている。 ・備品などの管理や修繕に対してもコスト意識をもって実施されている。
	改善事項	・大雪や小雪など降雪状況に応じたゲレンデ整備や安全対策の実施	・圧雪車の適正な維持管理により、ゲレンデの適切な整備や索道事故0の継続に期待する。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A＋	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A－	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	索道利用者数の増加					
	目 標	34,000人（対前年比100.0％）					
	実 績	25,360人（対前年比127.4％） 目標達成率74.6％					
資料	□索道利用者数 単位:人						
	年度	12月	1月	2月	3月	シーズン計	営業日数
	28	980	13,030	8,430	2,920	25,360	97
	27	0	10,170	8,270	1,470	19,910	81
	前年比	-	128.1%	101.9%	198.6%	127.4%	
	26	2,560	16,470	10,660	2,300	31,990	92
	25	2,490	16,450	10,100	3,390	32,430	93
	【12月】少雪のため滑走が不可となり来場者は減少した。 【1月】新規学校や団体合宿等の利用に努めたが、来場者の増加にはいたらなかった。 【2月】各団体の大会を行うことで 来場者の誘客を行うも、平日の来場者が少なく増加にならなかった。 【3月】営業最終日まで団体合宿の受入ができ、利用者の増加となった。						
	□県内外比較 単位:人						
	年度	県内	県外	合計			
28	10,030	15,330	25,360				
27	8,320	11,590	19,910				
前年比	120.6%	132.3%	127.4%				

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	・ファミリーチケットなど利用しやすいチケットの販売。学校・団体の合宿や大会の受入を図った。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	・浜汁祭り、スキー子供の日、スキーの日の設定し利用客増を図った。
	・利用者数増加のためのP R活動は実施しているか。	・ホームページの活用、ラジオCM放送、雑誌の掲載にてP R活動を実施した。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	・メール等で意見を頂くが、適切に対応結果を返答している。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	・アトラクション設置やリフト乗車料金のカード支払い対応への要望が寄せられており、費用対効果を確認し、検討を行っている。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	C	C
	評価理由	・新規団体の受入数の増加やシーズンを通した大会開催により誘客に努めたが、目標達成率によりC評価とした。 ・来場したお客様の満足度は高い。	・昨年度と比べ、県内外ともに利用者の回復が見られ、イベント等の営業活動は評価できるが、目標達成率によりC評価とした。 ・ゲレンデ内のアトラクション設置の要望も多いことから、新しい企画・提案が必要となっている。 ・企画・営業について、市及び関係者が一緒になって今後とも考えていく必要性がある。
	改善事項	・ファミリー層にターゲットを絞ったイベントの展開。 ・スキー競技層のいっそうの受入。 ・平日の利用客を増加するための対策。	・ファミリー層やシニア層をはじめ、気軽に利用できるスキー場としての展開や、競技スキーの誘致・受入対応による営業力強化に期待する。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

5 収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理	評価指標	利用料金収入の達成状況		
	目 標	索道売り上げ 61,000千円（対前年比 100.0％）		
	実 績	索道売り上げ 49,033千円（対前年比 121.1％） 目標達成率80.4％		
資料	□索道売り上げ		単位：千円	
	年度	計画	実績	達成率
	28	61,000	49,033	80.4％
	27	61,000	40,475	66.4％
	26	62,000	60,606	97.8％
	□年度比較			
	対27比較	100.0％	121.1％	
	対26比較	98.4％	80.9％	
	・ファミリーでの利用が多く、ファミリー券販売額も大きい。			
	・半日利用の方も多く見られた。			
・修繕等で自社対応が可能なものは即時対応し、改善を行っている。				

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用料収入の目標達成度	・入り込み日報を作成し、毎日の売上 チケット販売の確認を行った。
	・収入増加のための取組みを実施しているか。	・学校、団体の合宿や大会を積極的に受け入れるよう努めた。
	・収支決算書は適正に作成されているか。	・会計事務所とともに適正に作成した。
	・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	・平日はリフト1本を運休し、人員の削減と電気料の削減に努めている。 ・費用対効果を勘案し、滑走可能であったが、3/20で営業終了とした。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	・自社対応できる事は、即時対応した。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評価	B	B
	評価理由	・索道収入は、前年比121%で増加したが、例年並みの降雪であった対26年度比は約81%であった。 ・売り上げについては、天候による影響が大きい。	・索道の売上は前年を上回っているものの、目標達成率によりB評価とした。 ・グリーンシーズンの大会、合宿、レッスン等の実績が向上しており、年間を通して利用者数を伸ばすことで、売上を増やしていく必要がある。
	改善事項	・スクールや合宿、大会などの受入を増しており、その他関係者への営業に努めたい。	・利用者数増加のため、大会誘致や合宿等受入の営業活動に期待する。

【評価基準】

ランク		目標達成率(%)	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A+	100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A-	95%以上 100%未満	
B		80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

6 公の施設の設置目的と全体評価

検 証 等		市の評価		
	評 価	設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
		交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する。	適正な管理運営の確保	A（A－）
			利用者サービスの向上	C
			収支の実績	B
		評価内容		総合評価
		・市民の健康増進、及び県外観光客の誘客、地元雇用による地域経済の活性化につながっている施設であり、設置目的に合致している。 ・施設の管理・運営状況はほぼ良好であるが、前年度比較では収入・利用者数ともに伸びているものの、数年の経過では減少が続いており、運営面において営業活動やサービスの強化・改善等の努力を要する。 ・地元産のお米、地酒、加工品等の販売を積極的に行っており、地域振興及び地場産業振興に寄与している。		B
	課題検証	・営業活動の強化が課題となっており、スキー人口の増加が見込めない中、観光関係者（県市・JR・観光協会など）とタイアップし、スキーを旅行行程の一つとした旅行商品の作成など、新たな利用者確保が求められている。 ・グリーンシーズンの大会、合宿、レッスン等の実績が向上（H27：5,577人→H28：6,642人）しており、年間を通して利用者数を伸ばすことで、売上を増やしていく必要がある。 ・スキー場施設にかかる維持管理については、施設全体の老朽化が進んでおり、索道・宿泊施設・食事施設などの改修費用が必要となることが見込まれる。		
	改善事項	・グリーンシーズンの宿泊利用が好調なことから、冬季だけでなく、年間を通したスキー場の活用について、今後の営業活動に期待する。 ・スノーシーズンでは、半日券（H27：3,407人→H28：3,601人）及び昼日券（H27：354人→H28：785人）、ファミリーチケット（H27：4,000人→H28：5,667人）の利用実績は伸びており、気軽に行けるスキー場づくりや競技スキーの誘致など、新しいニーズの営業展開に期待する。		

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

○ 評価委員会の意見

糸魚川シーサイドバレースキー場

項 目	意 見
管理運営 利用者サービス 収支実績	・利用者サービスにおいて、少雪のため入客数が減少したことはやむを得ないものであるが、自己評価がC評価（早急に改善対策を要するもの）になった以上、暖冬になった場合を想定した少雪対策案をはじめとする、今後の努力点や代替案を作成願いたい。
全体評価	・借地契約については現状を今一度確認のうえ、費用面等について調査、検討を行う必要があると考える。 ・市は指定管理料を公費として支出する立場から、また指定管理者は公費による運営を行う立場から、経費の流れを細かく分析していることが大切である。仮に前年度の実績に基づくだけの収支計画になってしまった場合、適切な運営から離れてしまうので、市はある程度の支出基準・判断基準を設けたうえで比較分析するようにしていただきたい。 ・評価制度が安定化してきている中、評価票については分かりやすさが求められる。収支状況の項目を損益計算表の構成に合わせるなど改良願いたい。